

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 23 年 1 月 20 日 (2011.1.20)

【公開番号】特開 2009-134457 (P2009-134457A)
 【公開日】平成 21 年 6 月 18 日 (2009.6.18)
 【年通号数】公開・登録公報 2009-024
 【出願番号】特願 2007-309203 (P2007-309203)
 【国際特許分類】

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 T 1/00 2 0 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成 22 年 11 月 29 日 (2010.11.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

コンピュータに、

第 1 のファイルの格納場所を示す情報を含む第 2 のファイルであって、当該第 2 のファイルを削除するときに当該情報が示す格納場所に格納されている前記第 1 のファイルを削除するか示す削除情報を含む第 2 のファイルを取得する取得ステップと、

前記取得ステップにおいて取得された第 2 のファイルの削除の命令を受けた場合に、当該第 2 のファイルに含まれる前記削除情報に従って、前記第 1 のファイルを削除するか判断する判断ステップと、

前記判断ステップにおいて前記第 1 のファイルを削除することが判断された場合に、前記第 2 のファイルに含まれる、当該第 1 のファイルの格納場所を示す情報に基づいて、当該第 1 のファイルと当該第 2 のファイルの削除を命令する削除命令ステップと、

を実行させることを特徴とするプログラム。

【請求項 2】

前記削除命令ステップでは、前記判断ステップにおいて前記第 1 のファイルを削除しないと判断された場合であっても、前記第 2 のファイルの削除を命令することを特徴とする請求項 1 に記載のプログラム。

【請求項 3】

前記第 1 のファイルを格納している装置と、前記第 2 のファイル格納している装置とが異なる場合に、前記第 2 のファイルは、前記第 1 のファイルを格納している装置を格納場所として示す情報を含み、前記削除命令ステップでは、当該情報に基づき、前記第 1 のファイルを格納している装置に当該第 1 のファイルの削除を命令することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のプログラム。

【請求項 4】

前記削除命令ステップにおいて前記第 1 のファイルの削除を命令する前に、当該第 1 のファイルの削除を、当該第 1 のファイルを格納している装置に確認する確認ステップを有し、

前記削除命令ステップでは、当該装置から当該第 1 のファイルの削除の許可を受けた場合に、当該第 1 のファイルの削除を命令することを特徴とする請求項 3 に記載のプログラム。

【請求項 5】

前記取得ステップにおいて複数の第 2 のファイルが取得され、また当該複数の第 2 のファイルのいずれかを削除するための命令を受けた場合に、前記判断ステップでは、前記複数の第 2 のファイルのうちの、削除の命令を受けた第 2 のファイルに含まれる削除情報と、前記複数の第 2 のファイルのうちの他のファイルに含まれる削除情報とに従って、前記第 1 のファイルを削除するか判断することを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載のプログラム。

【請求項 6】

前記第 1 のファイルと前記第 2 のファイルは、それぞれ画像データを含み、前記第 1 のファイルに含まれる画像データの画素数は、前記第 2 のファイルに含まれる画像データの画素数よりも多いことを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載のプログラム。

【請求項 7】

コンピュータに、第 1 のファイルの格納場所を示す情報を取得する取得ステップと、前記取得ステップにおいて取得された情報を含む第 2 のファイルであって、当該第 2 のファイルを削除するときに当該情報が示す格納場所に格納されている前記第 1 のファイルを削除するか示す削除情報を含む第 2 のファイルを作成する作成ステップと、
を実行させることを特徴とするプログラム。

【請求項 8】

前記第 1 のファイルは第 1 の画像データを含み、前記作成ステップでは、前記第 1 の画像データよりも画素数の少ない第 2 の画像データを取得して、当該第 2 の画像データを含む第 2 のファイルを作成することを特徴とする請求項 7 に記載のプログラム。

【請求項 9】

前記第 1 のファイルと前記第 2 のファイルとを互いに異なる装置に格納させることを特徴とする請求項 7 又は 8 に記載のプログラム。

【請求項 10】

第 1 のファイルの格納場所を示す情報を含む第 2 のファイルであって、当該第 2 のファイルを削除するときに当該情報が示す格納場所に格納されている前記第 1 のファイルを削除するか示す削除情報を含む第 2 のファイルを取得する取得手段と、
前記取得手段において取得された第 2 のファイルの削除の命令を受けた場合に、当該第 2 のファイルに含まれる前記削除情報に従って、前記第 1 のファイルを削除するか判断する判断手段と、
前記判断手段において前記第 1 のファイルを削除することが判断された場合に、前記第 2 のファイルに含まれる、当該第 1 のファイルの格納場所を示す情報に基づいて、当該第 1 のファイルと当該第 2 のファイルの削除を命令する削除命令手段と、
を有することを特徴とするファイル管理装置。

【請求項 11】

第 1 のファイルの格納場所を示す情報を取得する取得手段と、
前記取得手段において取得された情報を含む第 2 のファイルであって、当該第 2 のファイルを削除するときに当該情報が示す格納場所に格納されている前記第 1 のファイルを削除するか示す削除情報を含む第 2 のファイルを作成する作成手段と、
を有することを特徴とするファイル管理装置。

【請求項 12】

第 1 のファイルの格納場所を示す情報を含む第 2 のファイルであって、当該第 2 のファイルを削除するときに当該情報が示す格納場所に格納されている前記第 1 のファイルを削除するか示す削除情報を含む第 2 のファイルを取得する取得ステップと、
前記取得ステップにおいて取得された第 2 のファイルの削除の命令を受けた場合に、当該第 2 のファイルに含まれる前記削除情報に従って、前記第 1 のファイルを削除するか判

断する判断ステップと、

前記判断ステップにおいて前記第１のファイルを削除することが判断された場合に、前記第２のファイルに含まれる、当該第１のファイルの格納場所を示す情報に基づいて、当該第１のファイルと当該第２のファイルの削除を命令する削除命令ステップと、

を有することを特徴とするファイル管理方法。

【請求項１３】

第１のファイルの格納場所を示す情報を取得する取得ステップと、

前記取得ステップにおいて取得された情報を含む第２のファイルであって、当該第２のファイルを削除するときに当該情報が示す格納場所に格納されている前記第１のファイルを削除するか示す削除情報を含む第２のファイルを作成する作成ステップと、

を有することを特徴とするファイル管理方法。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】プログラム、ファイル管理装置及びファイル管理方法

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００１】

本発明は、互いに関連する複数のファイル間での処理の管理を行うに好適なプログラム、ファイル管理装置及びファイル管理方法に関する。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１４】

本発明は、互いに関連する複数のファイルの削除の際の処理を円滑に行うことができるプログラム、ファイル管理装置及びファイル管理方法を提供することを目的とする。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００２０】

本発明に係る第１のプログラムは、コンピュータに、第１のファイルの格納場所を示す情報を含む第２のファイルであって、当該第２のファイルを削除するときに当該情報が示す格納場所に格納されている前記第１のファイルを削除するか示す削除情報を含む第２のファイルを取得する取得ステップと、前記取得ステップにおいて取得された第２のファイルの削除の命令を受けた場合に、当該第２のファイルに含まれる前記削除情報に従って、前記第１のファイルを削除するか判断する判断ステップと、前記判断ステップにおいて前記第１のファイルを削除することが判断された場合に、前記第２のファイルに含まれる、当該第１のファイルの格納場所を示す情報に基づいて、当該第１のファイルと当該第２のファイルの削除を命令する削除命令ステップと、を実行させることを特徴とする。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 1

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 2 1 】

本発明に係る第 2 のプログラムは、コンピュータに、第 1 のファイルの格納場所を示す情報を取得する取得ステップと、前記取得ステップにおいて取得された情報を含む第 2 のファイルであって、当該第 2 のファイルを削除するときに当該情報が示す格納場所に格納されている前記第 1 のファイルを削除するか示す削除情報を含む第 2 のファイルを作成する作成ステップと、を実行させることを特徴とする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 2

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 2 2 】

本発明によれば、ファイルに、その派生元ファイルの削除に関する情報を示す削除タグが付されるので、ファイルの削除と派生元ファイルの削除とを関連付けることができる。このため、これらの削除の際の処理を円滑に行うことができる。